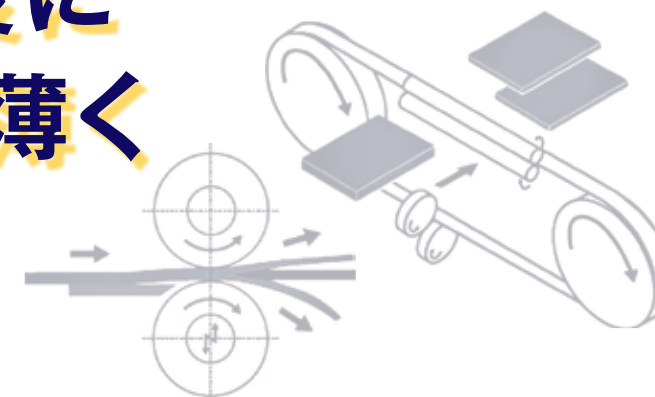


この技術、  
あなたなら  
どう活かす？

## 精密スライス

# 軟質素材を ミクロン精度に 薄く、さらに薄く

Soft materials to micron accuracy



### 開発経緯

当社では長年皮革の加工を行う設備を製造して参りました。  
近年、小型化、軽量化のニーズに伴い、軟質素材の軽薄短小化を目的とした  
加工相談を頂くケースが増え、加工設備や受託加工サービスを提供しています。  
これまで皮革材料の様な厚み、硬さ、延び、繊維の向きが不均一な材料の加工技術に特化し、  
軟質素材を高精度に薄くしたいニーズに対応してきました。

### 特徴

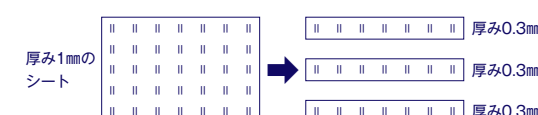
- ゴム、発泡体、不織布、ゲルなどの軟質素材加工用途の設備販売
- 顧客要求に対応した装置のカスタマイズ対応
- 材料の研究開発や量産加工補助、各種試験を目的とした受託加工
- 材料機能性、加工性の高い材料開発時の加工技術支援

### 製品導入の具体例

精密スライス加工で放熱性の高い高熱伝導シートの製作  
(シリコン、グラファイトシート)

#### 問題解決

- ✓ 厚み要求0.3mmシート製作
- ✓ フィラーに対し垂直方向に、配向方向を揃えたい
- ✓ 1枚のシートから300 $\mu$ mのシートを複数枚作りたい
- ✓ シートの表と裏皮を取り除きたい





ミッション・ビジョン

# NIPPY Qualityを高め、 グローバル ニッチトップを目指す

Improving NIPPY Quality Global Aim to become a niche leader

## | ミッション |

- 私たちは軟質素材加工技術で社会に役立つ価値を創造し、豊かな未来作りに貢献します
- 私たちは家族、友人に誇れ、身近な人を幸せに出来る良い企業を目指します
- 私たちはお客様のお困りごとを多種多様な能力で解決し、信頼、安心のトップブランドを目指します

## | ビジョン |

「グローバルニッチトップを目指し、革職人を笑顔に」

## | バリュー |

- |  |   |   |  |  |
|--|---|---|--|--|
| 1.<br>「誠実」であれ<br>仕事や他人に対して、まじめで真心のこもった行動をします | 2.<br>「素直」であれ<br>相手の意見や指摘を受け入れ、謙虚な行動をとります | 3.<br>「中庸」であれ<br><small>ちゅうよう</small><br>常にチーム意識を持ち、全体最適を考えます | 4.<br>「前向き」であれ<br>「出来ません」と言わず、それに代わる「出来る」事を提案します | 5.<br>「プロフェッショナル」であれ<br>今の技術や知識に甘んじず、工夫し、挑戦し、変化し続けます |
|--|---|---|--|--|



私達だけの「軟素材加工技術」による機械の製造メーカーとして  
クライアントの“ものづくり”をサポートし、社会環境にも順応できる製品を提供し続けていく

私は、日本の革細工、皮革産業は世界に誇れる産業の一つだと思います。  
私は大学卒業後、製品やブランドにより優劣が決まる業種ではなく、私自身の力量で勝負したいと思い商社に就職しました。そこでは、新人ながら自動車メーカーとの折衝、新規開拓を任せて頂き、若輩者で、勢いだけが取り柄の私に、掛け替えのない経験を積ませて頂きました。その3年後、祖父が創業し、父が経営するニッピ機械に25歳で入社しました。入社間もなく、組立を学んでいた時、出会ったある財布職人の考え方で、私がニッピ機械で働く目的が明確になりました。

私は財布を選ぶ際、収納性やデザイン性、価格に注目し判断していました。しかし、作り手、その財布職人の拘りは、カードの出し入れのし易さや、財布が破損し難い工夫と、使用者が気付かない細部まで気配り尽くした、モノづくりでした。これは顧客からの品質要求ではなく、その職人の気配りであり、職人からの使用者への愛だと感じました。その時に受けた感覚は、商社時代では味わえなかった、新たな感覚でした。私達の機械も、この様な作り手に使い続けて頂きたい。そこで、職人の要望であった、機械、部品の継続的な供給に応える為に、100年企業を目指すことを決意しました。

ニッピ機械は、75年間顧客に恵まれ、育てて頂きました。現在、当社が製造する機械は、国内唯一の製造業者として、責任を重く感じています。これからも、古き良きものを大切にし、社員と共に考え、形にし、達成感を分かち合える企業作りを通し、新しい未来に挑戦しています。

私たちは、現在、半導体、燃料電池、EV用途の高機能軟質素材スライス加工装置、受託加工事業を新規に立ち上げました。革加工技術で培った軟質加工技術で先端分野の軽薄短小ニーズに挑戦し、グローバルニッチトップ企業を目指し、産業、地域の発展に貢献出来る企業作りを行っていきます。



## | 事業内容 |

- 国内、海外の靴、カバン、財布、自動車内装材、家具、ランドセル生産用の機械販売、メンテナンス
- レザークラフト向け機械の製造、販売
- 半導体、燃料電池、EV、人工衛星用途の高機能軟質素材用スライス加工装置販売、加工サービス

## | 顧客への約束 |

1. ONLYONEではなく、品質No.1を目指し、産業の発展に貢献します
2. 日本の顧客から認められた技術力、品質、サービスを世界の革職人に提供します
3. 軟質素材精密スライス加工技術で高機能材料の開発を支援し、技術の発展に貢献します

1953年製の皮漣機が  
現役で今も活躍している





国内外の主要取引先

# 世界中を NIPPY技術で HAPPYに

HAPPY with NIPPY Technology to the World

渡く、削る 皮漣機



販売数／

51,000台

漣き割る バンドマシン



販売数／

950台

裁断、スリット

細皮切裁断機(スリッター)



販売数／

1,200台

糊付け 糊付機



販売数／

8,200台

## PARTNER'S VOICE

海外の主要取引先・パートナーの 声

Hoi Fung Sewing  
machine Company LTD. |  
Peter Kam 社長

ニッピ機械の優越性——ニッピ機械は私達の市場では最高の皮革加工機械メーカーです。私達は彼らの日本品質と性能に深く感謝しています。幅広い製品ラインナップを提供し築きあげた長い歴史は、市場から信頼されている証です。

取引の中での記憶に残っている事——大手自動車内装メーカーへの特殊デジタル機械の取引です。私達はこれまでも機能、サービスなどの詳細要求に対応することは大変でしたが、彼らと協力し解決してきました。

今後期待する事——私達は変化の激しいアジア、世界市場に対応した製品ラインナップに期待しています。また販売面やサービス面での支援を継続して頂き、環境負荷低減に貢献する部品、製品の開発を期待しています。

Shanghai Ju-Sheng  
Machinery Co.,LTD |  
William Chen 社長

ニッピ機械の優越性——ニッピ機械は靴、カバン、ベルト産業向けに高い品質、機能性を兼ね揃えた機械をアジア市場に提供する日本で唯一のメーカーです。

取引の中での記憶に残っている事——中国での商標権侵害裁判で私達はニッピ機械と協力し最終的に勝訴し、皮革業界で“NIPPY”商標を使用した丸刃製品を継続し販売することに成功致しました。数年間非常に大変な時期が過ぎましたが、現在では当社品と模造品との相違点を継続して説明してきた結果、順調に販売量が増加しています。

今後期待する事——現在、中国製競合機械は益々増加しています。彼らは品質、機能面で改善され販売量を増やしています。ニッピ機械としては世界市場を調査し、これから10年、20年、さらにその先の将来を考察した、商品やサービスの開発を期待しています。

India Sewing  
Machine Company |  
Firoz Khan 社長

ニッピ機械は皮革加工機器では開拓者であり、イノベーターです。彼らの高品質な日本製の機械と彼ら独自の皮漣機のカスタマイズオーダー対応により、価格以上に価値がある機械としてインド市場の顧客に認知されています。彼らはインドの素晴らしい顧客に受け入れられ、ゆっくりと、着実に成長しています。私達はインド、中東地域での販売代理店として彼らの製品を販売する事に誇りを持っています。これから彼らと協力し顧客に信頼される商品、サービスの提供を行っていききたいと思います。これからも温かいご支援を宜しくお願いいたします。

## RECOMMENDER VOICE

推薦者の 声

公益財団法人新産業創造研究機構 |  
技術移転部門 産学連携コーディネーター兼  
知財相談アドバイザー 伊賀 友樹NIRO  
公益財団法人  
新産業創造研究機構

これからの日本を支えるリーディング企業として  
期待しています

弊財団との縁は、知財相談をきっかけに、現在では経営全般についてご支援させていただいています。これまでの付き合いの中で、オンリーワンの皮革機械製造会社として産業の発展に貢献されとともに、75年間の経験と信頼を活かして半導体、燃料電池など新たな先端産業分野へ積極的に事業範囲を広げようとしている姿に大変感銘を受けました。兵庫、ひいては日本の未来を支える企業として期待しております。



1952年の創業時

関東ニッピ会 会長  
有限会社昭栄ミシン商会  
小山 雅也 社長

眠っていた機械も  
出張調整・使い方指導してくれる

国内皮革産業の戦後成長、発展期から主力商品の皮漣機を始め、靴、カバン製造では必須の機械を開発し、販売されてこられました。これも顧客の声に親身に耳を傾け、改善や製品開発に活かされた結果だと思います。また業界では海外輸入製品など納期の長期化、欠品が続く中、国内生産比率が高く、安定的な部品供給を継続して頂いているので、生産の安定化が図れ、助かっています。これからも今同様に業界発展の支援をお願いします。



点検・調整の様子



